

「高校生に聞く」

今日、2年生では「高校生に聞く進路選択や高校生活」についての講演会を開催した。話をしてくれたのは、本校の卒業生、現在高校3年生の4人だ。この学年も普通科に進学した生徒が多かったのだが、広くいろいろな学科の話聞くため、都立高校の総合学科、私立高校の食物調理科、都立の工業高校建築科、そして私立の大学付属高校の普通科の生徒に来ていただいた。その話の中から、印象に残る言葉をいくつか紹介したい。1、2年生は、今後の進路選択に役立ててもらいたい。

- ・自分の学力に合った高校を選ぶこと。授業内容はもちろん、自宅からの通学距離も学校選択の一つの要素だ。ネットやパンフレットも大切な資料だが、それには高校の良いところしか載っていない。とにかく自分の足で行って高校を見ること。学校の雰囲気を感じ、自分の性格に合っているか判断しよう。また、その高校の個別相談に参加すると、とても参考になる。高校の先生と話をするので、緊張はするが、面接の練習にもなるし、周囲を気にせずに質問することができる。

- ・自己分析、自分がどんなタイプなのかを知ることは大切なことである。試験にプレゼンテーションがあるなら、自分の個性や特技などを分かりやすく説明できるようにしておこう。そのような経験から人前で話すことに慣れ、自信につながる。

- ・専門学科の高校は、専門知識を学ぶのに特化した高校であり、在学中に資格を取得できる。専門家を外部から招き、本格的な授業も体験できるし、インターンシップも体験できる。就職にも強く、大企業に就職する生徒も多い。

- ・勉強は量より質というが、ある程度の量は必要だ。隙間時間を有効に勉強に使おう。友達に教えてあげることも、自分自身の勉強につながる。そして、支えてくれる家族や先生がいることに気づいてほしい。

4人の話の中で共通していたことは、自分はこうなりたいという将来像を見据えて努力すること。今からしっかりと準備することと、今の時間を大切にすることである。今日協力いただいた4人の卒業生に改めて感謝したい。

3月1日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 1、1、2、2、3の5つの数字を使って5桁の数字を作ります。何通りの数字が考えられますか。